

近代主権国家

発表者：権永詞
2000年5月1日

主権国家 領域内において最高の権力を持つもの

15.16世紀のヨーロッパの政治状況

ヨーロッパ全域の精神領域・世俗領域を支配するローマ教会の存在
キリスト教における「善いこと」＝政治・統治

カトリック教会の墮落と領邦君主の乱立

ローマ教会からの離脱
域内における中央集権的な支配体制

●マキャヴェリの思想

N・マキャヴェリ (1469-1527)

1498年以降 弱小国フィレンツェの外交担当官として政策に関与

15世紀のイタリアの政治背景

ナポリ王国、ミラノ公国、教皇庁、フィレンツェ共和国、ヴェネチア共和国の5つの勢力の均衡

マキャヴェリの人間観

「人間は神から善的なものを与えられたが、忘恩から「野獣」へと転化した」



人間の反社会性を内的矯正によって克服するのではなく、
いかに組織化しその在り方（方向性）を変えていくか

法および力（武力）・リーダーシップ

フォルトゥナとヴィルトゥ

「人間の自由意志は消滅せず、従って私は運命は我々の行為の半分を裁定するが、
他の半分、あるいは半分近くは我々によって支配されているとするのが正しいと考える」

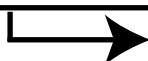
政治的営為が神的・倫理的なものとのアプリアリな一体感を持つものから
その自立性を目指すものとして捉えられている

共和制と君主制

共和制、君主制ともに「支配者-臣民」の関係性に焦点が当てられている



「人間がどのように生きるべきか」ではなく「人間はどのように生きているか」に焦点を当てる。



道徳的命法は常に相対化され、機能的に評価される

「統治がある一定の原理に照らし合わせて正しいか否かではなく、
「良き統治」とは平和を実現できる統治である」



権力が強くあること（対外的・対内的に）